

人材育成委員会

委員長 小川恵一

事業方針

2024年現在、20代から30代の社会人は急速に変化する社会環境の中でキャリアを築いています。特に、成長意欲が高く、仕事を通じた自己実現を重要視する一方で、短期間で成果を求める傾向や柔軟な働き方へのニーズが強まっています。さらに、デジタル技術を活用した効率的な業務と共感を重視したコミュニケーションが求められる中、彼らの多くが「仕事を通じた成長実感」や「やりがい」を感じられない状況に直面していることが課題です。理事長所信では、「真のリーダー」を育成することの重要性が強調されています。私たち青年会議所は、メンバーが「自己成長」を通じて地域社会に貢献し、より良い未来を築くことを目指す組織です。

そのために、次のような方針を掲げます。第一に、メンバー1人ひとりが青年会議所の理念を深く理解し、自身の活動が地域の発展にどのように寄与するかを実感できる仕組みを構築します。特に、新規メンバーが活動を通じて「自己の成長」や「やりがい」を感じられるよう、包括的なサポート体制を整備します。第二に、非アクティブ化を防ぐため、既存の活動に加えて、新しい取り組みや個々の強みを活かせる活動を取り入れます。また、メンバー間の信頼関係を築き、意欲的に活動を続けられる環境を整えます。最後に、「真のリーダー」として必要なスキルや能力を体系的に学べる研修プログラムを充実させます。メンバーがリーダーシップを発揮し、地域課題の解決に向けて行動することで、地域全体の発展に貢献することを目指します。本委員会の取り組みを通じて、メンバー全員が「明るく豊かな社会の実現」に向けて確かな一歩を踏み出せるよう全力で活動してまいります。

事業計画

1. 新規メンバーの支援プログラム

- ・組織の求心力を高めるために新規入会者向けに希望に応じてメンター制度を活用し、青年会議所の理念や活動の意義を共有する機会を増やす
- ・新メンバーが活動に馴染み、主体的に取り組めるようなサポート体制を構築する

2. 持続可能なメンバーの構築

- ・理事長所信にある「持続的なアクティブメンバーの増加」に向けた仕組み作りを推進
- ・メンバーが「JCI 桶川の活動が自身の成長に繋がる」と実感できる事業を計画

3. リーダーシップ育成研修の実施

- ・理事長所信にある「真のリーダー」に基づき、課題解決能力や目標達成を養うための研修を企画
- ・実際の地域課題をテーマとしたワークショップを実施し、理論と実践を結び付けた学びの場を提供する